



小児がんセンターたより

新型コロナウイルスと小児がん治療

昨年未までの「普通の生活」が夢のように感じられるほど、ここ数か月、世界はすっかり変わってしまいました。2月にはクイーンズスクエアで小児がん啓発イベントを行いました。院外でのイベントはそれが最後になってしまいました。小児がんの治療中・治療後の皆さんとご家族は、不安が高まっているのではないかと思います。

小児では重症化することは少ないと言われていますが、化学療法や手術によって抵抗力が低下している状態では、コロナウイルス肺炎が重症になるリスクは高いと考えた方が良さそうです。したがって、今まで以上に院内感染、ご家庭での感染には注意を払う必要があります。

病院の機能としては、あらゆる部署がコロナ対策モードで動いています。手術も減っています。しかし小児がんの治療はタイミングが重要ですので、コロナ対策モードによって治療に影響がでることは原則的にありません。手術もベストのタイミングで行います。

無責任に不安を煽るようなメディアも多いですが、不安があれば、ご遠慮なく主治医あるいは小児がん相談室に相談されることをお勧めします。

医療者を含め、誰もが経験したことのない事態です。みんなで力を合わせて、という言葉がこれほど重要なことは他に知りません。こういう状況でも、我々はがんと闘うすべての子どもたちを全力で守ります。

小児がんセンター長 北河 徳彦

小児がん従事者研修を始めます

小児がん拠点病院では、その機能や役割から、「研修の実施体制」について「小児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の医療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修などを毎年定期的で開催し、人材育成に努めること」と、「小児がん拠点病院の整備に関する指針」（2018年7月31日）に示されています。

COVID19で色々な対処を求められ大変な時期ですが、小児がんの子どもや家族の方へ質の高い医療やケアを提供するために、研修を企画しました。シリーズで月1回程度の開催を予定しています。詳しくは、別紙をご参照下さい。

なお、今年度は、社会情勢を鑑みて、例年企画しているいくつかの研修会やイベントを中止せざるを得なくなりました。

また予定のものも、随時変更の可能性がありますので、詳細はHPでご確認下さい。

【研修会などのお知らせ】

6月16日（火）小児がん従事者研修－1（Web参加可）

7月9日（木）小児がん在宅ケア研修会（Web参加）

※詳しくはホームページでご確認ください。



小児がん相談支援室 情報コーナー



今年は、COVID19の影響で、小児がんのお子様やご家族にも、面会や行動制限など、様々な影響がもたらされています。また、もし「コロナにかかったら」という恐怖も抱きながら生活をしていると思われます。そんな中、小児がんの親の会からは、医療者への応援メッセージが届けられたり、また院内の親の会からも、入院中のご家族へ、と手作りマスクのご寄付があったり、東京都の「NHYレモン」のメンバーの子どもたちからは、メッセージカードが届きました。その他、小児がん関連の支援団体さんから「何かできることはないか」など温かいお声をかけてもらっています。

人への思いやりの気持ちに感謝です。

こちらは、親の会から届いた応援メッセージです。👉
よかったらのぞいてみてください。



小児がんに関連したご相談は

「小児がん相談支援室」（本館 1 階 7 番窓口）までご連絡ください

時間：平日（月～金）8:30～17:00

相談方法：面談・電話・メール

電話：045-711-2351（代） E-mail：shounigan@kcmc.jp

各部門からのお知らせ～栄養管理科～

私たちの体は食事からできています。体を動かす力、勉強する力、大きくなる（成長する）力、すべて食事の中の「栄養」が基本です。爪や肌など体全体も食事から作られています。がんの治療では、化学療法、放射線療法、手術、移植とあり、子どもたちはとても頑張っていますが、大切な食事がすすまないこともみられます。栄養管理科では、困ったときに対応できるよう、入院時早期、治療中とお子さんのご家族へ伺い、できることを行っています。

吐き気がする、味を感じにくい、食欲がない、食べ過ぎてしまうなど、治療によって症状は様々ですので、状況によっては医師、看護師、歯科衛生士、リハビリスタッフ、薬剤師、保育士など多職種で連携しております。

また、治療による入院期間が半年以上



と長く、子ども

たちは親と離れてがんばっていらっしゃいます。少しでも日常を感じて頂けるようバイキングやイベント給食を実施しております。リクエスト

を受け付け、でき

るだけみんなの希望が沿うように準備しております。美味しい、嬉しい！の笑顔で、栄養管理科もとても元気を頂いております。

今後も安心・安全な給食で、子どもたちの笑顔と元気な体作りにつながるよう取り組んで参ります。

